

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人 竹川学園
施設名	Kids school でんでんむしハウス
報告者（役職）	笹野 英一（園長）
住所・連絡先	愛知県額田郡幸田町大字大草字松山 48 番地 1
	☎ 0564-63-1101
	E-mail dendemushi@fujibunka.com

○タイトル（保育計画）

にじいろ菜園 ～みて・さわって・あじわって いろいろ感じよう～

○主な助成備品

柵式プランター置台

1, 保育計画の策定の目的

園が立地する町は自然に恵まれ、散歩に出かければ山があり、池があり、畑があり、自然に触れる機会は多くあります。

しかしながら、園が住宅地に立地しているため、園庭には、植物を栽培するための畑を作成するスペースがなく、園児みんなで栽培することが困難な状況でした。そんなところ、空中栽培の存在を知り、地面にスペースがなくとも、柵と棚を作成し、地面でないと空中栽培のキットを活用することによって、栽培スペースが確保できるとわかりました。この空中栽培を活用して、自然を体感する保育の可能性が広がると考えました。

保育方針の『泥、砂、水、太陽、小動物、虫、草花、などを見るもの出会うものすべてが子どもを育てる。まわりの自然にかかわり、夢中になってあそべる子を目指す。』を元に園周辺のお散歩を通して、畑や池といった自然を体験することはできていますが、もっともっと身近に自然を感じる保育を行いたいと考え、園庭での菜園を活用し、子どもたちにものを育てる喜び、植物の成長の観察、またそこに集まる鳥、虫などの生き物を観察、そこから保育士が子どもたちに生き物の話題に触れ、生態の循環、また、作物を食することにより、作物の本来の味を感じ、収穫の喜びを感じる。『いただきます。ごちそうさま』の意味も深め食育の一貫としていくことを目的としました。

2, 具体的な実施内容

保育所の狭い敷地を有効に活用できるように、園の北側、東側の3か所に柵を活用したプランター台を作成、設置しました。

特徴は、虹色にした板の背面に溶接金網を設置して、つたの植物も栽培しやすい工夫をし、柵の上方には、被覆針金を活用し、アイビーが育ったら山々がイメージできるようにしました。今年はプチトマト・きゅうり・トウモロコシを栽培しました。

設置したプランター台



空中栽培の様子



袋栽培の様子



3, その成果と評価

種を植え、成長を見守り、実がなり、収穫し、みんなで食べる、一連の栽培活動を行うことで、保育士は、それぞれの場面での子どもの表情の違い、言動を素直に受け止め、子どもが感じる世界との違いを感じることができました。

今年栽培したプチトマトを題材に誕生した『トマトマン』を主役にした野菜の成長を描いた物語を作成し、保育に幅を持たせることができました。これらをもとに年間を通じての保育内容を充実させることができました。

2歳児は、植物の成長を楽しみに登園し、自ら水やりを行う姿が見られました。他にも、送迎時に親御さんとなかなか離れることができない子ども水やりを誘うことにより、スムーズに1日のスタートが切れるようになりました。野菜嫌いの子も自分で育てた新鮮な野菜のおいしさを知り、食べられるようになりました。ご父兄の方からは「菜園での話を子どもがしてくれて、お家でも野菜栽培を始めました」といったお話もあり、ご家庭での時間も作りだすことができました。

1歳児は野菜のお世話をするお兄ちゃん、お姉ちゃんの姿を見て、やってみたいと近寄ってくる様子も見られました。収穫した新鮮野菜を園の全員で食べることで『食べることの楽しさ』を感じられたかと思います。また、「来年は自分たちが栽培できる」という気持ちが芽生えていることを期待しています。

保育士は、場面に応じた子どもたちの表情を感じ取ることができ、楽しく保育ができるようになりました。野菜栽培を保育の流れに生かせることがわかり、来年からの保育に期待が膨らみました。

種子植えの様子



水やりの様子



収穫の様子



4, 今後の課題と展望

にじいろ菜園を通じて私たち職員も様々なことを経験し学びました。

その中で、大人と子どもの見える世界の違いを把握して、子どもたちの感じ方、表情をよく観察し、保育のやり方を常に考え、子どもに気づきを大切に育んでいきたいです。

野菜の栽培を通して思いやる気持ち、物事への取り組み、続けることの大切さを体験できるように努めていきます。そして、壮大な自然を感じられるように来年度以降の栽培に力を入れていこうと考えています。

今回、第一生命財団様より助成していただいた素敵な菜園を活用し、これから展開される保育を充実させて行けますよう努めてまいりたいと思います。

おばあちゃん先生のお話の様子



いただきまーす！



調理の様子



トマトマンと一緒に



以上